

膿胸の治療

抗菌薬治療(必須であるが、抗菌薬単独での改善は困難)

1. 初期治療では嫌気性菌をカバーするため、βラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系、クリンダマイシン、あるいはカルバペネム系を含む治療
2. 投与期間はドレナージ等で良好に経過した場合、**解熱後2週間程度**
3. 難治例では**解熱後4週間程度**

胸腔ドレナージ

1. 多房化していない場合は胸腔ドレーン挿入が基本
2. 1本のドレナージで成功しない場合、CTガイド下等で複数挿入
3. ドレナージでの改善困難な場合は

線維素溶解療法

胸腔ドレナージからウロキナーゼ等を投与することがある

外科的治療

1. 搔把、洗浄
2. 胸膜剥離術
3. 開窓術

膿胸では処置や手術による介入を要する